40万円へ引き上げる

中小企業への小口融資額

中小企業者のみなさんへ資金を融通するための制度に、吉原市小口資金協調融資促進制度があります。

この制度も、昭和三十六年の発足当時は、市単独の小口融資制度で、融資総額は一五〇〇万円でしたが、さくねんから県とタイアップして融資する協調制度となり、融資総額も三二〇〇万円となり、貸付件数は延二五二件で、七〇〇七万円が中小企業の方に利用されています。

ことしは融資総額を四〇〇〇万円にふやし、貸付限度額も、最近の物価高をみあわせ四〇万円（さくねんは三〇万円）に引き上げました。

ことしの貸付要綱は次の通りです。

◇融資総額は
四〇〇〇万円

◇融資を受けられるひと
従業員が三〇人以下の中小企業者で、市内に店舗工場、事業所があるひと

◇信用保証には
県信用保証協会の保証が必要です。

◇融資の条件は

▽資金の使途は
事業資金にかぎります

▽貸付額の限度は
一企業者四〇万円以内

▽貸付利率は
日歩二戔

▽貸付期間は
一年以内

▽返済方法は
月賦または割賦

▽担保および保証人は
連帯保証人を一名、担保はとらない

▽保証料は
日歩三厘

◇申し込み先は
市商工課または商工会議所

※金融関係の相談には市商工課、商工会議所をご利用ください。

後日が即日払へ

前納制のご利用を

みなさんが昨年度まで固定資産税、償却資産税県市民税を前納すると、後日報償金を出していましたが昭和四十年度から納税した金融機関の窓口で、即日払いができるようになりました。ますます有利になる前納制をご利用ください。

なお、本年度から督促状の取り扱いについて、納税通知書と督促状は別に発送いたします納税するには納税通知書と督促状が必要です。昨年のように督促状だけでは納入できませんので注意してください。

稲づくりに新手

功を奏す節水栽培

さいきん全国的に水不足が伝えられていますが、水の都といわれた吉原市も、さくねんからことしにかけて、急激な水不足となつてきました。

現在、吉原市の水田面積は約一〇〇〇ヘクタールありますが、そのうち約四五〇ヘクタールが水不足となり田植用水の心配もでてきました。

そこで市農政課では、その対策として稲づくりの栽培技術による節水方法を考えています。

ことしは特に水が不足している元吉原、須津、吉永今泉に栽培の「試験展示ほ」を作り、農家のみなさんに栽培方法の実地指導、講習会を行なう予定になっています。

それではその栽培法にはどのようなものがあるかみてみましょう。

◇陸（畑）苗代

さくねん水不足となり、苗代田にさけめができたため、苗の発育が止つてしまつた地区もありました。このような地区は、昨年以上の水不足が予想されますので、陸苗代を作つてください。

◇じきまき（節水）栽培

この栽培法は、省力栽培法として普及されましたが、田植時期に、水がなく代かきもできず、田植のむずかしい地区に良いと思います。現在伝法地区の一部のみなさんがこの方法で、良い成績を上げています。

なお、くわしい栽培法につきましては、富士南部農業改良普及所、市農政課、各農協へお問い合わせください。

緑化めざして……

桑崎高場所で植樹祭

治山治水の願いをこめ桧を植える斉藤市長

恒例の吉原市植樹祭が、さる四月十三日、桑崎字高場所で盛大に行なわれました。

ことしの植樹祭には、市長、正副議長、教育長をはじめ議員、各課長など約八〇名が出席し、桧の苗木一〇〇本が植えられました。

斉藤市長は「全国有数の公有林をもつ吉原市の林業をより充実させるため、今後も大いに造林を行ないたい」とあいさつ。

植樹の行なわれた高場所は、ことしの二月に四六年生の杉と桧四一五二本を伐採したところですが、市林産課では、この植樹祭を機会に、五月末までに同場所へ桧の苗木約九〇〇〇本を植えるといつています。

駿東郡小山町 公園墓地を造成

用地希望者は衛生課へ

雄大な富士を背景に一〇〇万坪の大公園墓地を駿東郡小山町に作ろうと、財団法人富士霊園が発足しました。

市では、公園墓地の公共性を認め、市民墓地として二千基の割当を受けるため募集業務を行なうことになりました

規模、申し込み手続きは次のとおりです。

◇規模は
総面積は一〇〇万坪（埋葬用地四〇万坪、公園道路用地六〇万坪）で墓地一基の面積は二坪です。墓石の種類は二種類に統一されています。

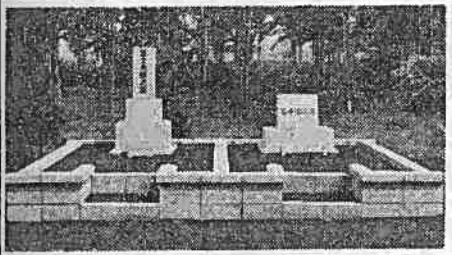
◇使用権利料は
墓地二坪と完成した墓石がついて一基五万円（第二回募集七万円、第三回一〇万円）です。管理費に月額一〇〇円が必要です。

◇場所は
静岡県小山町（大御神）

◇申し込みは
市衛生課、富士霊園管理事務所（小山町大御神、電話御殿場②〇八八六）

◇締め切りは
六月末日まで。申し込みが多い場合は先着順です

※くわしくお知りになりたい方は市衛生課、富士霊園管理事務所へお問い合わせてください。



写真は富士霊園につくられた墓石見本(右)西洋型—新設計の横型二段重ね(左)日本型—日本古来の三段重ね

配給通帳が変わる

五月一日から配給制度が一部改正になり「配給通帳」が新しくなります。

新しい配給通帳は五月最初の配給を受ける時に、各配給所から受取つてください。

なお、いままで使用していた通帳は、四月末日までに購入されている配給所へ提出してください。人員その他で変更や誤りがありましたら、市民課または支所へ申し出てください。

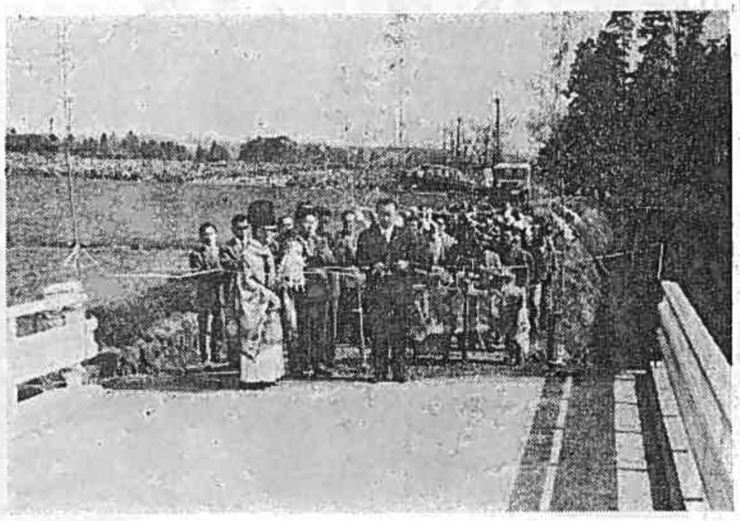
精神衛生相談所を開設

保健所では、精神衛生相談日を次のようにもうけましたので、気軽にご利用ください。

◇日時
毎月第一火曜日と第三金曜日・午後一時から三時まで

◇場所
吉原保健所

◇担当医師
第一火曜日が大富士病院医師・第三金曜日が県立養心荘医師



富士見橋完工

市長らが渡り初め

大淵穴原町二丁目の砂沢川にかかる「富士見橋」がこのほどできあがり、この渡り初めが四月十三日、斉藤市長、勝又議長、地元民約七十人が出席して現地で行なわれました。

斉藤市長が「富士見橋の完成という良き日にあたりいつそう当地域の発展につくそうと、心新たなものがあります」と祝辞をのべると、地元を代表して穴原町一丁目町内会長の勝亦高さんが「わたしたちの念願であつた〃鉄筋の富士見橋〃はなによりもうれしい贈りものです」と喜びを語つていました。

写真は富士見橋開通のテープを切る斉藤市長と喜びの穴原町民

軽自動車税の変更

四月一日から地方税法の改正により、軽自動車税のうちで軽四輪乗用車が、一台年額三千円から四千五百円になりました

成人学校生徒募集

21日から一週間受付け

吉原市教育委員会では、第十五回成人学校生徒の募集を四月二十一日から一週間行ないます。

〃あなたが聞きたい、知りたい、覚えたい、習いたいことを手軽に学べる〃キヤツチフレーズで、みなさんに親しまれている成人学校も、さくねんは全国で五位にランクされるなど、年年盛んになつています。

ことしは、内容のより充実をはかり、あらたに日本画、尺八、弓道の三科を新設しました。これで正教科は、十五科目、二十二教室となりました。

あなたの教養を高め、職能を身につけ、体位の向上をはかり、あわせて余暇の善用をはかるなど成人学校を有意義に利用してください。

なお、募集は次のように行ないます。

◇申し込みは
四月二十一日から四月二十七日まで、毎日（土、日曜日も）午前九時から午後六時まで
料理科は二十一日から三日間だけです。

◇受け付けは
市教育委員会社会教育課（本町三丁目、電話②三一一四番）

◇受講料は
申し込みのとき諸経費として二百円が必要です。

◇科目は
煎茶、抹茶、華道、謡曲洋画、日本画、詩吟、尺八書道（毛筆、ペン）料理、自動車、柔道、剣道、弓道

◇期間は
五月十日から十一月十日まで（土、日曜日は除く）

◇時間は
午後七時から八時五十分まで

◇その他
①申し込みの少ない科目は開設しないことがあります。②日本画科は二千円程度の材料費がかかる見込みです。③尺八科は各自で尺八を用意してください。

※入学を希望する方は教育委員会社会教育課へお問い合わせください。

こちらは市役所です④

林産課の巻

富士山の八合目まで位置している吉原市には、市有国有、私有あわせて一万余ヘクタールの山林がありますが、これら山林の管理、運営は林産課で行なつています。

現在、市内には曽比奈線双ツ山支線など三〇の林道があり、山深い森林への通路となつています。四十年度にはさらに丸火線など三線の延長が組まれ、林道の完備を急いでいます。

また、この課の主な仕事に造林の仕事があります。造林事業は、森林資源の造成や国土保護を目的とし、重要な山林事業の一つとなつています。これには国や県で、知事が認めた苗木にかぎり助成金を出し、造林の推進をはかる一方、三十七年に開設された勢子辻の林業センターでは、杉、桧を主とした品種見本園で、適地、適木の選定や、林業技術の向上など林業経営の合理化につとめています。

その他林産課では、若木を食い荒らす野鼠の駆除や松くい虫の防除、狩猟に関する事務を取り扱つています。

※電話は事業係が内線四十番、庶務係四十一番

次回は商工課

（写真は四月十三日行なわれた市植樹祭から—桑崎高場所で）

〃無線広報〃のお知らせは毎日午前7時45分と午後4時45分。